

情報Ⅱ 授業案

【学習計画(15時間)】

- ・15時間を目安としているが、制作時間を増やすなどして15時間以上でも対応できるようにする。
- ・HTML や CSS については生徒の学習状況を教員がオンライン上で確認できるシステムが必要である。
- ・学習内容は、高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)情報Ⅱ内容(2)「コミュニケーションとコンテンツ」(193 頁)及び高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)解説 情報編 第 2 章 2 内容とその取扱い(2)「コミュニケーションとコンテンツ」(45 - 48 頁)に基づく内容である。
- ・生徒は成果物としてオリジナルのWebサイトを制作する。その作成の過程で、生成 AI を活用しプロダクト制作に活かす。
- ・支援の形態は、対面でのサポートを 2 回、オンラインによる遠隔でのサポートを 1 回以上行うことを必須条件とする。

学期	単元及び内容のまとめ	主な学習活動と到達目標	時間数	支援形態 (必須)
2	生成 AI の基礎学習	学習活動 ・生成 AI の仕組みや活用時に留意すべき点や著作権について学ぶ。 ・画像生成を通してプロンプトの練習を行う。 到達目標 ・生成AIを活用した簡単なゲーム制作を行えるようになる。	1	対面
	Web サイトの基礎学習	学習活動 ・HTML と CSS を学ぶ。学習にはブラウザ上で HTML と CSS を作成・実行できるオンライン学習ツールを用いる。 到達目標 ・既存のWebページを編集し、オリジナルのWebサイトを制作できるようになる。	4	
	Web サイトのテーマを考える	学習活動 ・Web サイト制作の流れを理解し、Webサイトのテーマを設定する。 ・テーマ設定の際、生成AI(Gemini)を活用し、壁打ちしながらテーマ設定を行う。 到達目標 ・生成AIを活用し、Webサイトのテーマ設定を行うことができるようになる。	1	対面
	Web サイトの構成を考える	学習活動 ・Web サイトの構成を学び、プロトタイプを作成する。プロトタイプはワークシートを用いて行う。 到達目標 ・Web サイトが、「誰に」「何を」伝えたいのかを明確にし、プロトタイプを作成することができる。	2	
	Web サイトの制作	学習活動 ・プロトタイプを元にWebサイトを作成する。作成に当たっては以下のことができるツールを用いる。 1. ブラウザ上でWebサイトを作成でき、生徒のBYOD 端末から作成できるようにする。 2. 作成しているWebサイトは評価のために教員から確認できるようにする。 ・3時間目には、複数名の補助員による中間フィードバックの機会を設ける。 ・Webサイトのデザインを考える際に、生成AIを活用する。 到達目標 ・「誰に」「何を」伝えたいのかがわかる、Webサイトが作成できている。 ・生成AIを活用してデザインを洗練されたものに行うことができる。	5	3 時間目 遠隔
冬 休 み		冬休みの課題として、2 学期中に制作しきれなかったところを完成させる。		
3	発表会準備	学習活動 ・次回の授業で発表会を実施するための準備を行う。 到達目標 ・Webサイトを通じて伝えたいことを、発表できるように準備ができている。	1	
	発表会	学習活動 ・作成したWebサイトについて発表し、相互評価を行う。 ・作成したWebサイトは令和9年1月29日(金)の17時まで公開する。 (検索エンジンには表示されず、URLを知っている人のみがアクセスできるようにする。) 到達目標 ・Webサイトを通じて伝えたいことを、発表できている。 ・工夫した点や、生成AIをどのように活用したかを発表できている。	1	